

# ももとせ

第430号

30年度7月

中野区立桃園小学校

## かこさとしさんの生き方から学ぶ

副校長 井上 江見子

絵本「からすのパンやさん」「だるまちゃん」シリーズは、誰でも図書館や本屋さんで目にしたことがあるのではないのでしょうか。絵本作家、児童文化研究家のかこさとしさんの作品です。かこさんは今年5月、92歳で亡くなりました。かこさんの生き方から子供たちへの教育について考えてみました。

かこさんは、子供たちに平和な人生を歩んでほしいという戦争への反省が出発点となり、将来を担う子供たちのために何かしたいと紙芝居をかき、読み聞かせから始めました。

子供の頃、貧乏で学費を払ってもらえないと考え、それでも学校に行きたかったため、軍人の士官学校へ志願。学費免除と小遣いがもらえること、飛行機が好きだったことが理由だったそうです。視力が悪かったので、軍人になれず、20歳で終戦。士官学校を目指していた仲間が特攻に志願し、亡くなったことで価値観が大きく変わります。数年間何のために生きているのか悩み苦しみます。でも、ある時こんなことになった原因は自分が世の中のことを知らなかったからと思うようになります。軍国主義に疑問をもち、他の国のことをもっと勉強していたら間違った道には進まなかったと、かこさんは考えます。自分を含めた当時の大人に期待ができないから子供たちに物事を正しく判断できるしっかりとした知識を身に付けてほしい。そんな思いが絵本を作る原動力になったそうです。

子供たちは面白いと思ったものにしか参加しない。困ったかこさんは、子供たちに面白いと思ってもらえるように考えるのですが、なかなかうまくいかず、結局子供たちから教わったと話しています。また、子供は大人と同様に世の中を生きている仲間だから、時代を受けて学んだり反発したりしていると捉えています。

今を生きる私達大人は、子供たちに何を望み、期待するのでしょうか。急激に発展する情報社会、人との関わりの希薄さや子供たちの体力低下が危惧される現代。時代が変わっても子供たちの幸せを願う親心、子供たちの心身の成長を願う教師(学校)、子供たちを見守りたいと願う地域の方々の思いは、同じだと思うのです。教育基本法に『教育は、人格の形成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行なわなければならない』とあります。学校は、自分で考え、判断して生きていくことのできる子供、心身ともに健康な子供の育成を目指します。

## かこさとしさんから子供たちへのメッセージ

「これからの未来をおすすめ、もっとよい世界にするため、科学や学問を身に付け、違った意見をよくきき、考えを深めて実行する賢い人にみんななってほしいと願っています。そして、自分のくせや体力に合ったやり方や練習法を見つけて、自分で鍛えてたくましくしなやかな能力とすこやかな心を備えた人になるように努力してください。」

(2011年かこさとしさんの特別展会場掲示)  
※このメッセージを興味深く読み、かこさとしさんがどんな方が知りたくなりました。  
本校図書館の掲示版に貼ってあるものです。

## <子供たちの交通事故防止のために>

「東京都自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例(第15条)」に基づき、子供たちの安全のためご家庭でも以下のことにご協力をお願いいたします。

- 父母その他の保護者は、その保護する児童(18歳未満の者をいう)が、自転車を安全で適正に利用することができるよう、指導・助言等を行い、必要な技能及び知識を習得させるように努めること
- 父母その他の保護者は、自転車を利用する際は、児童に反射材を利用させ、乗車用ヘルメットを着用させる等の必要な対策を行うよう努めること

## 今月のめあて

【生活】後片付けをしっかりとやろう

【保健】夏を元気に過ごそう

【給食】衛生に気を付けて食事をしよう

【安全】プールでの決まりを守ろう

